

Kandai Style

2016.10 Vol.453
関西大学通信

大学生の読書傾向



関西大学のさらなる発展を目指して

第42代学長に芝井敬司教授が就任

7月6日、楠見晴重学長の任期満了に伴い、次期学長を選ぶ学長選挙会が行われました。その結果、文学部の芝井敬司教授が選出。理事会でも承認され、10月1日付で学長就任となりました。そこで今回の特集では、第42代学長に就任した芝井教授に今後の抱負について語っていただきました。また、同じく10月1日付で就任した新役職者についても紹介します。



学長 文学部教授
芝井 敬司

2016(平成28)年10月に、第42代学長に就任いたしました。長い歴史と伝統をもつ関西大学学長職の重責に身の引き締まる思いです。

私たちの先人は困難を懸命に乗り越えて、いま見る関西大学のかたちに学園を発展させ、私たちに残し伝えてくれています。そのことを想い起こし、理想と現実を踏まえつつ、将来を切り拓く試みを、いま一度、勇気をもって始める必要があります。本学が、燃えさかる「知のたいまつ」を、150周年そして200周年へと、誇りをもって後に続く世代に引き継いでいくために、今こそ全学の衆知を集め、取り組むべき改革の具体像を構想し、勇気をもって着実に実行していかなければなりません。まずは、「研究と教育」の面で内的充実をはかり、そして「社会連携と国際活動」を通じて社会、地域、国際舞台といった大学の外側の世界と関西大学とのつながりを、太くしっかりと築き上げることから始めましょう。

関西大学が学生、保護者や卒業生、企業・団体、地域社会にとって、ひいては現代社会全体にとっても、「新しい世界を拓く考動する関大人」を育て送り出す大学として、かけがえのない存在感を示し独自の光を放つことができるよう全力を尽くします。

芝井 敬司 教授の履歴

氏名	芝井 敬司(しばい けいじ)
学歴	昭和53年3月 京都大学文学部卒業 昭和55年3月 京都大学大学院文学研究科 博士課程前期課程修了 昭和56年3月 京都大学大学院文学研究科 博士課程後期課程中途退学

職歴	昭和56年 4月 京都大学助手(文学部) 昭和59年 4月 関西大学専任講師(文学部) 昭和62年 4月 関西大学助教授(文学部) 平成 6年 4月 ~現在 関西大学教授(文学部) 平成14年10月 ~18年 9月 関西大学文学部長 平成18年10月 ~21年 9月 関西大学副学長(総務・学生担当) 平成20年10月 ~21年 9月 学校法人関西大学常任理事 平成22年 4月 ~現在 学校法人関西大学理事 平成28年10月 ~現在 関西大学学長
----	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

研究分野	西洋史 博士(文学) 関西大学
------	-----------------

学外での主な役職	独立行政法人日本学術振興会大学教育再生加速プログラム委員会専門委員 公益財団法人高槻市文化振興事業団評議員
----------	----------------------------------------------------------

所属学会	日本西洋史学会 日本歴史学協会 史学研究会 史学会 科学基礎論学会 関西大学 史学・地理学会 歴史家協会
------	------------------------------------------------------------------------

副学長



政策創造学部教授
おく かずよし
奥 和義



社会学部教授
たかます あきら
高増 明

学長補佐



人間健康学部教授
おかだ ただかつ
岡田 忠克



システム理工学部教授
まえだ ゆたか
前田 裕



化学生命工学部教授
よしだ ひろし
吉田 宗弘



経済学部教授
よしなが こうへい
良永康平



法学部教授
たかさく まさひろ
高作 正博



文学部教授
ほり じゅんじ
堀 潤之

学部長・研究科長・専攻長



法学部長・法学研究科長
こいずみ よしゆき
小泉 良幸



文学部長・文学研究科長・東アジア文化研究科長
ふじた たかお
藤田 高夫



経済学部長・経済学研究科長
たにだ のりゆき
谷田 則幸



商学部長・商学研究科長
おとまさ しょうた
乙政 正太



社会学部長・社会学研究科長
ながい よしかず
永井 良和



政策創造学部長・ガバナンス研究科長
こにし ひでき
小西 秀樹



外国語学部長・外国語教育学研究科長
たけうち おさむ
竹内 理



人間健康学部長・人間健康研究科長
やまがた ふみはる
山縣 文治



総合情報学部長・総合情報学研究科長
あいはら なおし
桑原 尚史



社会安全学部長・社会安全研究科長
あべ せいじ
安部 誠治



システム理工学部長
たじり たかひろ
田實 佳郎



環境都市工学部長・理工学研究科長
やまもと ひでき
山本 秀樹



化学生命工学学部長
いけだ まさひこ
池田 勝彦



心理学研究科長
かわさき ともたけ
川崎 友嗣



法務研究科長
はやかわ とおる
早川 徹



会計研究科長
みしま たかひろ
三島 徹也



心理学研究科 心理臨床学専攻長
てらしま しげのり
寺嶋 繁典

学生センター所長 政策創造学部教授
おかもと てつかず
岡本 哲和

学生センター副所長 法学部教授
ばば けいた
馬場 圭太

学生センター副所長 人間健康学部教授
わくい ただあき
涌井 忠昭

学生センター副所長 化学生命工学部教授
まつむら よしのぶ
松村 吉信

読書の秋にちなんで今号では、関関同立における生活協同組合の書籍売り上げランキングを比較し、大学生の読書傾向をリサーチ。また、関大生4人に「私の心に残った本」をテーマにインタビューを実施しました。



関関同立書籍売上トップ10 (2016年5月)

■関西大学生協同組合(千里山キャンパス)

タイトル	著者	出版社
1 これが本当のSPI3だ! 2017年度版	SPIノートの会 津田秀樹	洋泉社
2 TOEICテスト公式問題集 新形式問題対応編	Educational Testing Service	国際ビジネス コミュニケーション協会
3 目の見えない人は世界をどう見ているのか	伊藤亜紗	光文社
4 合格するための 過去問題集日商簿記3級 '16年6月検定対策	TAC株式会社 簿記検定講座	TAC株式会社 出版事業部
5 NHKラジオ ラジオ英会話	—	NHK出版
6 世界から猫が消えたなら	川村元気	小学館
7 会社四季報 業界地図 2016年版	—	東洋経済新報社
8 魔法科高校の劣等生SS	佐島勤	KADOKAWA
9 新TOEIC TEST出る単特急金のフレーズ	TEX加藤	朝日新聞出版
10 NHKラジオ 実践ビジネス英語	—	NHK出版

■関西学院大学生協同組合(上ヶ原キャンパス)

タイトル	著者	出版社
1 TOEICテスト公式問題集	Educational Testing Service	国際ビジネス コミュニケーション協会
2 新TOEIC TEST出る単特急金のフレーズ	TEX加藤	朝日新聞出版
3 家族はなぜうまくいかないのか 論理的思考で考える	中島隆信	祥伝社
4 中学3年分の英語やりなおしワークシート	横田直美	ベレ出版
5 はじめての新TOEICテスト全パート総合対策	塚田幸光	アスク出版
6 TOEIC TEST英単語スピードマスター	成重寿	Jリサーチ出版
7 スッキリわかる日商簿記3級	滝澤ななみ	TAC株式会社 出版事業部
8 ポケット六法 平成28年版	山下友信 山口厚	有斐閣
9 求愛	瀬戸内寂聴	集英社
10 世界から猫が消えたなら	川村元気	小学館

■同志社生活協同組合(今出川キャンパス)

タイトル	著者	出版社
1 新TOEIC TEST出る単特急金のフレーズ	TEX加藤	朝日新聞出版
2 TOEICテスト新公式問題集 vol.6	Educational Testing Service	国際ビジネス コミュニケーション協会
3 スッキリわかる日商簿記3級	滝澤ななみ	TAC株式会社 出版事業部
4 ポケット六法 平成28年版	山下友信 山口厚	有斐閣
5 TOEICテスト公式問題集	Educational Testing Service	国際ビジネス コミュニケーション協会
6 法律学習マニュアル	弥永真生	有斐閣
7 政治行動論 有権者は政治を変えられるのか	飯田健 松林哲也 大村華子	有斐閣
8 社会保障入門 2016	社会保障入門 編集委員会	中央法規出版
9 ロシア語ミニ辞典	安藤厚(ほか)	白水社
10 日商簿記検定模擬試験問題集3級商業簿記 平成28年度版	—	実教出版

■立命館生活協同組合(衣笠キャンパス)

タイトル	著者	出版社
1 TOEICテスト公式問題集	Educational Testing Service	国際ビジネス コミュニケーション協会
2 何者	朝井リョウ	新潮社
3 君の隣をたべたい	住野よる	双葉社
4 人類最強の純愛	西尾維新	講談社
5 新TOEIC TEST出る単特急金のフレーズ	TEX加藤	朝日新聞出版
6 公務員試験速攻の時事 平成28年度試験完全対応 実戦トレーニング編(あらゆる時事問題を完全攻略!)	資格試験研究会	実務教育出版
7 64 上	横山秀夫	文藝春秋
8 ぼくは明日、昨日のきみとデートする	七月隆文	宝島社
9 四畳半神話大系	森見登美彦	角川書店
10 公務員試験速攻の時事 平成28年度試験完全対応 (教養・専門のあらゆる科目に対応!)	資格試験研究会	実務教育出版

※教科書・雑誌・コミックを省く

「私の心に残った本」を紹介します。



【のぼうの城】

著者:和田竜
出版社:小学館



「読書への誘い」授業に参加 緒方 彰宣さん(商学部2年次生)

「読書への誘い」の授業に和田竜さんが登壇するのを知り、「直接話してみたい!」と思い、この小説を手に取りました。歴史小説の面白さは、史実を変えずに物語のイメージを膨らませ、ストーリー展開するところにあると思います。この小説では歴史上の人物一人一人が生き生きと描かれていて、豊臣の大軍に立ち向かう武将の姿に魅力を感じます。歴史を知らない人にとっても分かりやすいので、きっと楽しみながら読んでもらえると思います。



【夜は短し歩けよ乙女】

著者:森見登美彦
出版社:株式会社KADOKAWA



学術研究会 現代文学研究部 勝尾 洸太郎さん(文学部2年次生)

物語がとにかく面白いです。主人公の「私」が思いを寄せる「黒髪の乙女」に何とか振り向いてもらおうと、いろいろ努力し追いつけるけれど、それになかなか気付いてもらえない。その過程にとても共感できます。また、物語の舞台となる京都の描写が鮮明で、読んでだけで情景が目に見えます。作中で登場する「古本祭り」は実際にあって、そこに足を運び、主人公が飲んだラムネを味わったときは最高の気分でした。



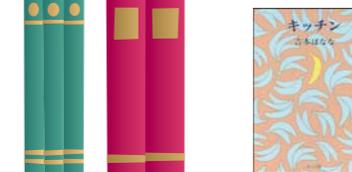
【深い河】

著者:遠藤周作
出版社:講談社



学術研究会 国文学研究部 山尾 文子さん(法学部3年次生)

遠藤周作は私の好きな作家の一人です。彼の文章は読みやすく、純文学のどっかきりとして親しみやすい作家で、この作品は彼の最後の長編小説です。人生の意味などを求めてインドに向かう人々と、神父を目指しながら神父になれずガンジス川で遺体を運ぶ仕事を続ける「大津」という男性との間のやり取りや出来事を、オムニバス形式でつづります。イエス・キリストを「玉ねぎ」と称して自らの宗教観を織り込んでいくのが、いかにも遠藤らしい手法だと感じました。



【キッチン】

著者:吉本ばなな
出版社:株式会社KADOKAWA



文化会 文芸部 谷口 美沙紀さん(法学部3年次生)

落ち込むことがあった時、何気なく手にしました。読んでみると、冒頭からの文章がきれいで読みやすく、読み込むという感じではなく、すっとはいつてくるという印象です。内容は主人公の祖母の死から始まるのですが、「死」について言及していて、人はいずれ死ぬという中で、今のこの時間を大切にゆくり生きていこうという感じですが、とても優しい話だと感じました。重い内容ですが読んで後はすっきりと爽やかで、前向きな気持ちになります。



OPINION OF PROFESSOR

文学部 渡邊智山教授

読書の意義はどこにあるのでしょうか。新たな知識を得るため、将来の自分につなげていくため、単純に好奇心を満たすためなど、答えは一概に決まるものではないのかもしれませんが。日常を生きる私たちは、眼前の問題解決のために、また将来を見据えた自身のスキルアップの向上のために、「HOW TO」本を手がかりにはありますが、思想書を読んで世の中を知ろうとしたり、偉人伝を読んで人生の進路を決め

てみたり、また、SF小説を読んで便利な社会を作り出そうとしたりなど、「HOW TO」の内容を超えたところに、読書の面白さや大切さがあるのだと思います。

知の世界は無常であって、私たちの好奇心は、どこまでいってもいっぱい満たされることはありません。終わりなき好奇心を満たしてくれるもの、それが本の世界であり、読書という行為なのではないでしょうか。

自戒の言葉でもありますが、学生には、「深く、味わう読書」を体得してほしいと思っています。これは多読がなければ、たどり着けない境地です。ぜひ、いまこの瞬間から本を手にかけてください。

次回のテーマは…「いま、福島を考える」

3.11東日本大震災から来年で6年目を迎える福島県。現状の正しい理解に向けて、原発事故の被害を受けた地域だけでなく、福島県の全体像を知り、今私たちにできることを考えましょう。



福祉業界 / 社会福祉士

社会福祉法人 寝屋川市社会福祉協議会
杉谷嘉紀さん

大阪府立香里丘高等学校出身
2015年人間健康学部卒業

地域住民と深い信頼関係を築く。
そして、より頼られる存在へ。

地域住民の人々と一緒に、誰もが安心して暮らせる街づくりを進める社会福祉団体、寝屋川市社会福祉協議会が、杉谷嘉紀さんの職場です。今年の4月より、福祉委員と呼ばれるボランティアとともに地域のさまざまな課題解決を目指す「地域支援」と、経済的問題や社会的孤立などが要因となり、支援や援助を必要とする人々の生活環境の改善などを旨とする「個別支援」を担当しています。

もともと「人や世の中のために働きたい」という思いがあった杉谷さんは、高校時代に福祉の仕事に興味を持ち、関西大学人間健康学部に進学。大学の授業内で取り上げられた、ある社会福祉士が個別支援や地域課題の解決に向けて取り組む懸命な姿に惹かれ、同じ道を志したと言います。働き始めた当時、杉谷さんは、制度によって解決できない問題の多さに戸惑ったそうです。「簡単に解決できる問題ばかりではないので、まずは困っている地域住民一人一人の課題を見極めること。そして、当事者のペースに合わせ、寄り添う姿勢を忘れないよう心掛けています」。相談に訪れる地域住民の中には、人に対して恐怖心や不安感を抱く人も少なくないため、「何でも話してもらえよう、その方との信頼関係を築くことが大切だ」と考え、面談では話し方や話を聞く姿勢に気を付けています」と言い、面談を重ね、課題を解決し、相談者が一歩ずつ前に進む姿を目にした時にやりがいを感じると話します。学生時代に出会った人たちと今でも交流を続けている杉谷さん。仕事で行き詰まれば知恵を借り、時には勉強会に誘ってもらうなど、その経験から、「人は一人では何もできません。だからこそ、人との出会いやつながりをいつまでも大切にしてほしい。それが社会に出てからも、きっと役立つはずですよ」と、実感を込めて話してくれました。



ある1日のスケジュール

- 8:50 出勤
- 9:00 業務開始、メールチェックなど
- 10:00 外部の相談所にて相談者対応
- 12:00 自分休み
- 13:30 協議会内で会議
- 15:30 電話対応、事務作業、個別訪問
- 19:00 福祉委員との会議
- 21:30 退勤



スケジュール管理や出張時に使う手帳やペンのほか、外回りで活躍する自転車と地図が必需品。

Community Social Worker

VIVA!!

学び易



政策創造学部

「専門演習1」

安武真隆 教授

古い本を読みながら、目の前の政治について考える。

先人が残した著作を読み解き、
これからの社会を乗り切るヒントを探ります。

政治学では、約2,500年前から先人が書き記してきた書物から政治のあり方や取り組み、その成果などを考察し、現代の政治や社会と照らし合わせるスタイルが学問の根拠を支えています。その著作の内容を深く理解し、自問自答を重ねることで、今の時代の政治に合う「考え方のヒント」や「最善の答え」あるいは「より悪くない選択」を探ります。

そのスタイルに倣って、安武真隆教授の「専門演習1」の文献講読では、政治学・政策学専攻の学生が押さえておくべき古典的な政治学の著作を輪読する形式をとっており、担当者が決められた章・節をまとめたものを報告し、その後、討論を行っています。今年は、アリストテレスの『政治学』が対象著作です。著作に出てくる論じ方や考え方を学び、現代に生かしてみることがゼミのテーマの一つとなっています。「時代が大きく異なるため、一見何も関係ないと思える事柄でも、よく検証してみると現代で起きている事柄との共通点が見えてくることがあります。

安武教授は、ゼミ生に将来、出会うさまざまな人とうまくコミュニケーションを取れるようになってほしいと考え、イベントや交流の場を積極的に設けているそうです。今年の6月には、定期的なゼミ会以外に合宿も行い、ゼミメンバーは親睦を深めました。

安武教授はゼミを通じて、複雑な世の中やその変化に対する耐性を学生には身に付けてほしいと言います。「目の前で起こる問題に対して、すぐに答えを求めるのではなく、頭を柔軟にして取り組める人材になってほしいですね。

「よく学び、よく遊び、そしてよく対話する」を信条としている安武教授は円卓状に並べられた机に着き、ゼミ生たちが繰り広げる討論を見守っていました。



額田晴香さん(3年次生)

授業の内容は難しいですが、知識豊富な先生が分からないことに対して丁寧に解説してくださるので、すごく分かりやすいです。イベントが多いゼミなので、メンバーともすぐに仲良くなれるのは、魅力の一つだと思います。



樽本悠平さん(3年次生)

高校生のときから世界史が大好きだったのですが、1年次生のときに受けた安武先生の授業でその分野が扱われ、とても面白かったので、このゼミを選択しました。これから2年間のゼミが充実したものになるだろうと楽しみです。



政策創造学部
安武真隆 教授

基本的には「来るもの拒まず」という考え方ですが、政治学に関心はあるけれどちゅうちょしている学生、書かれている内容についていろいろ議論したい学生、自分の興味ある事についてももっと深く学びたい学生には、ぜひゼミに参加してほしいと思います。



千里山キャンパスで馬が走った!!



千里山キャンパスの馬場で障害を飛ぶ若原さん

馬術部の「人馬一体」はアルバイトでも

千里山キャンパスの一角に以前、広大な馬場があり、馬術部員が日夜、馬の世話をしながら練習に励んでいました。

平成16年(2004年)に高槻キャンパスに移転しましたが、100年近い歴史をバックに本学は今も大学馬術界の強豪です。伝統は綿々と受け継がれ、部費稼ぎのアルバイトまで「人馬一体」です。

体育会馬術部の創設は大正13年(1924年)。昭和2年(1927年)には千里山キャンパスに厩舎が完成、その2年後には馬術部のクラブハウスも竣工しました。部員の朝は早く、練習は午前7時から2時間。その後、講義や馬の手入れ、餌用の草刈り作業が続きました。当時のキャンパス周辺は今ほど住宅が建て込んでおらず、あちこちの雑草地で草刈りに汗を流したといいますから、ずいぶん牧歌的な時代でした。

創部当初からの際立った特長は「自馬飼育」でした。当時の大学馬術部は普段は民間団体などから借りた馬で練習していましたが、関大は創設時から6頭の自前の馬を飼育していました。当時の日本でキャンパス内での自馬飼育は珍しく、本学のほか、学習院大学と京都大学くらいだったといいます。

■ 映画撮影で落馬

昭和37年(1962年)、創部以来、2人目の女性部員として入部した神藤加代子さん(1966年文学部卒業)。1年次生の冬、先輩たちと部費稼ぎのアルバイトに精を出しました。吹田市山田での時代劇の映画撮影に、馬と一緒に出演したのです。作品は宝塚映画の「真田三銃士」。砂塵を巻き上げて疾駆する神出鬼没の真田勢。その騎乗シーンは、関大馬術部員の独壇場です。もちろん部員の顔は映りません。ズームアップされたのは、トラックの上で懸命に乗馬の格好を続ける俳優の上半身でした。

実はこの時、不覚にも「ゆり姫」役の神藤さんは落馬しました。ところが馬の「クロ」は姫に振り向きもせず、そのまま知らんぷりでキャンパスの厩舎に戻ってしまったのです。賢いというのか、薄情というのか。神藤さんは「私もウマイこと落ちたから、大した怪我もせず」と洒落ながら、その後もめげずに練習に励んだといいます。

そして昭和40年(1965年)6月、神藤さんはいよいよ栄冠をつかみます。全日本女子学生馬術選手権大会を制し、初代チャンピオンとなったのです。さらに1年後、今度は若原尚さん(1967年商学部卒業)が全日本学生馬術選手権大会を制し、「学生日本一」の座につきました。関大馬術部初の快挙が続きました。

やぶさめ

■ 天満宮で流鏝馬

住宅建設の波が厩舎近くにまで及んできたことなどから、馬場は高槻キャンパスに引っ越しましたが、部員と馬たちの生活はさほど変わりません。現在、関大職員を務めながらほぼ毎日高槻で部員の指導にあたる中谷彩夏さん(2008年商学部卒業)。3年次生の秋、全日本学生賞典障害飛越競技大会で団体優勝し、43年ぶりの全国制覇を果たしました。このとき中谷さんは個人でも優勝し、個人・団体2冠を達成しました。中谷さんによると現在、馬は20頭前後、部員は約30人で、朝7時半から部員の授業時間などを勘案しながら交代で厩舎の掃除、餌づくり、馬の運動などをこなします。

部費を確保するためのアルバイトも、さすがに時代劇のエキストラはなくなりましたが、今も馬と一緒に。舞台は大阪天満宮の秋の大祭で行われる流鏝馬(やぶさめ)神事。武士に扮した部員がかつての参道だったビジネス街で馬を走らせながら、的を半弓で打ち抜く恒例の行事です。「人馬一体」の伝統はまだ続きます。



高槻キャンパスにある現在の馬場

昨年の全日本チャンピオン
松水優斗さん(文学部2年次生)
馬はバーデンバーデン号





社会学部3年次生

濱口 智美さん

“形に残せる”が、何よりも魅力です。

学術研究会マス・コミュニケーション学研究会、通称“マス研”は、出版・広告・映像の3パートからなる研究会です。濱口智美さんは、そこで映像パートのリーダーを務めています。

映像パートのメイン活動は、映像であればプロモーションビデオやショートムービー、ドキュメンタリー映像、CMなど、ジャンルを問わず、自ら発案して絵コンテ、撮影、編集の全過程を手掛け、映像制作を行うことです。また体育会本部や学園祭実行委員、サークルなど外部からの映像制作の依頼も受注。その中で濱口さんは、毎週実施するパート会議の進行に加えて、制作チームのメンバー編成や進捗状況の確認などを行っています。「個性が強いメンバーが揃っているので、お互いの個性が相乗効果を生むチーム編成になるよう心掛けています」と言う濱口さんは、実は入学当初、別のサークルに入ろうと思っていたそうです。それでも友達に誘われて参加したマス研の新入生歓迎会でのメンバーの和気あいあいとした雰囲気や、映像制作体験がとても面白く魅力を感じ、入部を即決したと言います。そして、1年目の年末には個人制作で、好きなアーティストの楽曲のオリジナルプロモーションビデオを完成させ、「自分自身の思いを表現できている」と感動し、「写真と違って映像は動きや音も一緒にその時の思い出として、いつまでも残せることがいい」と実感しました。

マスコミ関係の仕事への興味から、現在濱口さんは、テレビ局でアルバイトをしています。担当しているのはテープ保管庫。収録テープが全て保管されている場所で、テープの貸し出し業務のほか、報道局へ編集用のテープを届けています。ここでもリーダーとして、アルバイトのメンバー全員が責任を持って働くよう指導もしているそうです。「テープの中には高価なものもあるため、緊張感を持って扱う必要があるんです」と濱口さんは語ります。

リーダーとして映像パートを引っ張ってきた濱口さんも、今年12月でマス研を引退します。「引退まで思いっきり映像制作を楽しみたい。楽しい雰囲気を後輩たちに残したい」と自身の目標を語り、そして後輩たちには「形に残るものを作っているんだ」、「自分たちは面白いことをしているんだ」という意識を持って、活動に取り組んでほしいです」と希望を込めて話します。

今までで一番気合いが入っているという年末の個人制作。今年の発表会で、濱口さんはどのような世界を表現し、何を後輩たちに伝えるのでしょうか。期待は高まるばかりです。



活動の様子



濱口さんが制作したミュージックビデオ

今回は、濱口さんからのご紹介で林青空さん(政策4)が登場。お楽しみに!



Tomomi Hamaguchi

学部・研究科トピックス

法学部 / 法学研究科

専門演習の募集

10月は、専門演習の募集・選考の時期です。講義科目とは違い、専門演習では、専門知識の獲得ばかりでなく、主体的に学習する姿勢も求められます。そうした学習を煩わしいと感じる人もいかもしれませんが、特定のテーマについて調査、分析、報告し、教員や他の学生と議論するという経験は、社会に出てからもさまざまな場面で必ず生きてきます。何より、専門演習という場でなされる交流は、皆さんの学生生活を知的にも人的にもいっそう充実したものとしてくれるはず。積極的に履修するようにしましょう。
(今野正規准教授)

文学部 / 文学研究科 東アジア文化研究科

大学院進学説明会

文学研究科では、5月・6月・11月に大学院進学説明会を行っています。学部で学んだことをもっと深めたい方、自分の専門を生かして専門職に就きたい方は、積極的に相談に来てください。大学院における授業の仕組み、進学後の進路、大学院生の生活などさまざまな情報を提供しています。また、各種奨学金が用意されていますから、こうした情報は進学準備には不可欠です。入学前の予約型奨学金もありますから、早めに対処するのが肝要です。秋は、11月26日(土)開催です。
(原田正俊教授)

経済学部 / 経済学研究科

留学を視野に入れて日々の学習を

現代の経済はグローバル化が進み、世界を意識することなく経済を語ることはできません。経済学部のカリキュラムもそれを強く意識したものになっています。しかし、「百聞は一見に如かず」の故事にあるように、現地に赴くことは机上の学習にリアリティを持たせてくれます。昨今の学生は内向きで、留学希望は3人に1人程度なのですが、皆さんにはぜひその1人になってほしいと思います。短期留学でも「新しいあなた」に変えてくれると思います。思い切って、一歩前に踏み出してみませんか。
(学部長 谷田則幸教授)

各学部・研究科のさまざまな活動や取り組みなど、トピックスや皆さんへのメッセージをお届けします。

商学部 / 商学研究科

「会計」に強い商学部生を目指して

商学部では「英語と会計に強い」ビジネスリーダーを養成することに力を注いでおり、公認会計士受験支援委員会は、商学部生に対し、日商簿記検定2級に合格できるように、さまざまな支援を行っています。今秋も大原簿記専門学校と連携した「答案練習会」を実施します。また「簿記コンテスト」を開催し、成績上位者に対して表彰を行っています。平成27年度公認会計士試験では、商学部在学中の学生10人(うち2人は3年次生)が見事難関試験を突破し、商学部は今後も積極的な学生支援をしていきます。
(岡照二准教授)

社会学部 / 社会学研究科

専攻フェイスブックが始まっています

私たちの生活にすっかり定着したSNSですが、関西大学にもいくつかのFacebookページがあるのをご存じでしょうか？社会学部ではメディア専攻と社会システムデザイン専攻もFacebookを始められています。学部や大学全体の情報も取り上げられていますので、皆さんもぜひチェックしてみてください。
(守如子准教授)



政策創造学部 / ガバナンス研究科

池田市活性化へ向けて

政策創造学部では、今年度も池田市役所へのサポーター派遣を実施します。池田市は全国に先駆けて住民主体のまちづくり「地域分権」を進めています。学部生たちは、地域活性化に向けた各地域の提案や事業を、池田市HP作成やワークショップ運営などを通じて、積極的にPRしていきます。また地域交流イベントの企画・運営も進めます。今年も、政策創造学部の学生たちは、その活力を生かして池田市に新たな風を吹き込みます。
(入試主任 橋口勝利准教授)

外国語学部 / 外国語教育学研究科

「実り」の秋

秋学期もすでに3週間が経とうとしています。秋といえば食欲、読書、芸術、そして実りの秋です。今年はどのような実りがありましたか。外国語の能力が飛躍的に伸びた人もいれば、SA体験などを通して専門授業の内容をより複眼的な思考で学べるようになった人もいましょう。実りを得るためには、土を耕し種を蒔き、水や栄養を毎日のように与え、無事に成長していくように見守ってやらなければなりません。来年の実りのために、今年はどんな種を蒔きましょうか。来年の秋が楽しみですね。
(池田真生子教授)

人間健康学部 / 人間健康研究科

「学の実化」の博士を養成

人間健康研究科博士課程後期課程の特徴は、現代社会の健康をめぐる諸問題を科学的に解決することのできる日本でも数少ない高度専門職業人の博士(Professional Doctor)の養成にあります。まさに、関西大学の学是である「学の実化」の博士と言っても良いでしょう。そのために、地域活性化型、イベント型、事業企画型、学社連携型の4つのプロジェクトに分かれ、現場での課題を発掘し、科学的知見により検討し、課題解決のための提案をする「課題解決プロジェクト型インターンシップ」という授業を設けています。
(杉本厚夫教授)

総合情報学部 / 総合情報学研究科

グランフロント大阪にて成果発表

総合情報学部では、創立130周年記念事業の一つとして産官学連携の取り組みを進めてきましたが、その成果を、10月15日(土)・16日(日)の2日間、JR大阪駅北側のグランフロント大阪において発表します。このイベントは、「360°frontier」の名のもと、参加いただく皆さんに、360°映像とスマホを使ったVR体験ができるワークショップや、総合情報学部の最先端の取り組みを学んでいただけるツアーを予定しています。多数の皆さんのご参加をお待ちしています。
(副学部長 林武文教授)

社会安全学部 / 社会安全研究科

日新火災・保険市場の寄付講座

損害保険で初めてグッドデザイン賞に輝いた日新火災と、保険市場を展開し7月に東証一部上場を果たしたアドバンス・クリエイトが共同で提供する寄付講座が開講します。今年度秋学期プレ開講、来年度本開講となります。火曜5限に保険ビジネスの最前線で活躍する方々が講義します。
(亀井克之教授)



システム理工学部・環境都市工学部・化学生命工学部 / 理工学研究科

心機一転、理工系学部は常に前進しています

理工系学部の夏は本当に熱かった!少しは立ち止まり、振り返ることも大切ではあるものの、前に進める楽しさを常に感じ、秋につなげたいものです。3年次生までの学部学生にとって8~9月は長い休み時期でもあり、旅行などのリフレッシュに充てられた方や、企業などが開催するインターンシップに参加された方、資格や検定試験などの準備に充てられた方など、それぞれ充実した時期を過ごされたことでしょう。4年次生や大学院生にとっては成果発表の時期でもあり、その多くの期間を準備のため研究室で過ごされていたことと思います。7月

26~28日、関西大学100周年記念会館で開催された11th International Symposium in Science and Technology at Kansai University 2016で始まり、8月下旬から9月中旬に集中する各種学会の学術発表会や年次大会、また国際会議など、研究室をあげて最新データや技術を紹介されたと思います。このような機会も、各自の成果公表だけではなく、他の研究者が見いだした新しい技術やアイデアを吸収する場にもなっています。夏休みの経験が新しい秋からの研究や勉学、将来のキャリアデザインにつながることでしょ。

(松村吉信教授)

第4学舎では来年3月完成を目指して1号館の改修工事が続けられています。皆さまには多大なるご不便をおかけしていますが、もうしばらくお待ちください。一方で、2号館教室棟5階がリニューアルされ、秋学期から使用できるようになりました。これまで分断されていた4つの教室が1つの廊下でつながり、アクセスが改善されました。2つのOD教室のPCはWindows10システムへと更新され、また、新しくモニターが設置されて2つの教室の同時授業が可能となりました。さらに、カードリーダーの導入により、セキュリティーが向上され、夜間/休日使用が大幅に緩和されることでしょ。また、OD教室や製図室、2号館教室棟全体のアクセスも大幅に改善される予定です。

専門職大学院トピックス

法科大学院

阪大・関大夏休み共同セミナーを実施しました

法科大学院では大阪大学法科大学院と連携し、単位互換の他、FDや入学前指導等を共同で実施しています。その一環として8月30日に民事訴訟法(テーマ:①判決以外の訴訟終了原因一和解を中心として ②最近の司法試験における既判力の出題について)および9月12・14日に刑事訴訟法(テーマ:伝聞証拠集中講座)の共同セミナーを本学の梅田サテライト・オフィスにて実施し、両大学から多くの学生、修了生が参加しました。さらなる教育の充実を目的として、引き続き大阪大学法科大学院との連携強化に取り組みます。
(入試主任 大和正史教授)



併設校トピックス

関西大学第一中学校

校外学習(美術鑑賞会)に行ってきました!

さる7月14日、祇園祭で大勢の観光客でにぎわう京都に、われらが一中生は校外学習に出掛けました。京都国立近代美術館では、前衛的な「ポール・スミス展」と「キューバの映画ポスター展」を鑑賞し、梅小路公園での昼食後は、4月にオープンしたばかりの京都鉄道博物館で実物・実車体験をしました。どの生徒も探究心をくすぐられたようで、普段、教室ではあまり見ることのできない彼らの楽しそうな笑顔がそのことを物語っていました。
(第一学年主任 中川仁一郎)



自動改札機の仕組み見学 (京都鉄道博物館にて) ポール・スミス展 (京都国立近代美術館にて)

2016年度秋学期 学年暦 2016年度秋学期の学年暦は以下の通りです。試験期間や休業期間などスケジュールを把握し、計画的に学生生活を送ってください。

月	学部	大学院	専門職大学院	留学生別科
11月	●大学創立記念日(4日)		●大学創立記念日(4日)	●大学創立記念日(4日) ●日本語科目試験(24日~25日) ●日本語科目試験成績発表(30日)
12月	●冬季休業(25日~1月6日)		●冬季休業(25日~1月6日)	●冬季休業(25日~1月6日)
1月	●授業再開(7日) ●秋学期授業終了(21日) ●秋学期試験(23日~30日)	●授業再開(7日) ●秋学期授業終了(21日) ●秋学期試験(27日)	●授業再開(7日) ●秋学期授業終了(法務18日、臨床心理27日、会計30日) ●秋学期試験(法務19日~31日、臨床心理28日~31日)	●授業再開(7日)
2月	●入学試験(1日~8日)			●秋学期授業終了(3日) ●秋学期定期試験(6日~7日) ●秋学期成績発表(13日) ●日本語集中演習(13日~24日)
3月	●入学試験(3日~4日) ●卒業成績発表 ●在学成績発表 ●在学履修届受付 ●卒業式(18日) ●春季休業(21日~31日) ●学年終 秋学期終了(31日)	●在学成績発表 ●在学履修届受付 ●学位(修士・博士)記授与式(21日) ●春季休業(24日~31日) ●学年終 秋学期終了(31日)	●専門職学位課程修了者発表 ●在学成績発表 ●在学履修届受付 ●学位(専門職学位)記授与式(21日) ●春季休業(24日~31日) ●学年終 秋学期終了(31日)	●日本語集中演習成績発表(8日) ●秋学期修了式(10日) ●学年終 秋学期終了(31日)

※詳細はインフォメーションシステム等で確認してください。

関大トピックス

野球専用新グラウンド「KAISERS BASEBALL FIELD」(旧千里山北グラウンド)が完成

千里山キャンパスに、野球専用新グラウンド「KAISERS BASEBALL FIELD」(旧千里山北グラウンド)が完成しました。

本グラウンドは、正課体育授業やフィールドワーク系の課外活動を中心に使用してきた千里山北グラウンドを大幅に改修し、野球専用グラウンドとして生まれ変わったものです。その広さは両翼が95m、中堅が118mあり、内野に黒土、外野に人工芝を使用。付帯設備としてバックネット、フェンス、ダッグアウト、倉庫、球場内ブルペン(5カ所)、レフト後方屋根付ブルペン(4カ所)、スコアボード(電光SBO表示付)、2階建て本部棟を設置し、課外活動等の拠点として活用されます。

8月25日には新グラウンドで竣工式を挙行政、体育会野球部部員らが出席しました。



人間健康学部の高野芹奈さんがセーリング競技でリオデジャネイロ五輪に出場

人間健康学部1年次生の高野芹奈さん(体育会ヨット部)と宮川恵子さん(和歌山セーリングクラブ)のペアが、8月12日から8月16日に行われたリオデジャネイロ五輪セーリング競技49erFX級に出場し、健闘を見せました。

高野さんは、関西大学第一中学校3年生から競技を始め、今年3月にアラブ首長国連邦で開催されたアジア選手権大会で見事優勝を果たし、わずか3年4カ月という競技歴でリオデジャネイロ五輪への出場をかなえました。

今回、入賞には至らなかったものの五輪という大舞台で世界トップレベルの選手と戦った高野さん。4年後に開催される東京五輪へ向けてさらなる飛躍が期待されます。



写真提供: (公財)日本セーリング連盟

春学期卒業式・学位(修士・専門職)記授与式および学位(博士)記授与式・秋学期入学式を挙行政

千里山キャンパスで9月16日、春学期卒業式および学位(修士・専門職)記授与式と学位(博士)記授与式、秋学期入学式が挙行政されました。

春学期学部卒業生は163人、大学院博士課程前期課程修了生は21人、専門職学位課程修了生は7人、博士課程後期課程修了生は4人、論文博士は2人でした。

また、秋学期入学生は、総合情報学部6人、文学研究科12人、東アジア文化研究科9人、理工学研究科5人で、新たな学びをスタートさせています。



春学期卒業式および学位記授与式 秋学期入学式

留学生別科春学期修了式・秋学期入学式を挙行政

南千里国際プラザで9月9日、留学生別科春学期修了式が挙行政されました。修了生13人は修了証書を手に、それぞれの道に向かって歩み出しました。

また、9月24日には、留学生別科秋学期入学式が行われました。アメリカ、インドネシア、韓国、スペイン、台湾、中国、フランス、フィリピン、ベトナム、ラトビアの10カ国・地域から69人が入学。新入生たちは、希望に溢れた新生活の第一歩を踏み出しました。



春学期修了式

秋学期入学式

関大人

よもやまばなし

四方山話 ◆ 「池田のことば」

キャリアセンター事務局次長兼
エクステンション・リードセンター事務グループ長

荒堀善文



わが故郷には本学校友の六代目がお住まいである。艶々あったことはさて置いて、落語「池田の猪飼い」、「牛ほめ」の舞台である池田には、師匠の肝いりで開館した「落語みゆーじあむ」が城下に座して、毎年社会人落語日本一決定戦も繰り広げられる。六代目には大変申し訳ないが、個人的には創作よりも古典を好む。とりわけ故枝雀師匠演ずる「地獄八景亡者の戯れ」を芝居小屋最前列のド真ん中で対峙した折には、度胆を抜かれた。ちなみに、「寝床」と「胴川の幸助」が自身の琴線に触れまくる。ところで「なぜ古典?なぜ枝雀さん??」には訳がある。それはまさしく地

元の言葉、ひいては大好きだった祖父母の話しことば・間合い・抑揚に極めて類似した言語で語られていたからに他ならない。

「この子だけはドンならん。ほたえてんと早よ手え洗るてオスモジ食べなはれ!」。幼少の頃に享受した言いまわしの数々を、時折りあえて発話している。愛すべきNative Languageを絶滅させたくないから。かつ伝統文化伝承の義務感に駆られて…

頃は秋、祭りの季節。今年も五穀豊穡を祈願して、故枝雀師匠がこよなく愛した地酒で一献傾け候ふ。言わずもがな、「呉春」と号する。

編集後記

今号の「働く関大人」のコーナーでは、社会福祉協議会で働く杉谷さんが登場しています。社会福祉協議会(社協)という名称を聞いたことがある、どんな仕事をしているところか知っている、という方はあまり多くありません。社協とは、社会福祉法で「地域福祉の推進を図ることを目的とする団体」と規定されており、地域福祉活動の要として、住民とともに福祉コミュニティづくりの活動を行う団体です。福祉の担い手が不足する昨今、杉谷さんのような意欲のある若者がこれからの福祉分野をけん引してくれることを期待しています。(広報委員・人間健康学部教授 狭間香代子)



関西大学通信「KANDAI STYLE」

発行日: 2016年10月3日(年9回発行)
発行: 関西大学広報委員会
〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35
電話: 06-6368-1121(大代表)

今月の表紙



「歓喜の瞬間」
カメラマン: 杉山菜摘さん(人3)

堺キャンパスサッカーサークル「COLORs」の伊勢遠征にて、「SS AUTUMN CUP 2015」で3位入賞した際の写真です。キャンパス問わずサークルメンバーを募集しています!